



現在、少子高齢化による労働者人口の急減やグローバル化など激動の時代を迎えています。職業のあり方も大きく変わると予想され、子供たちが社会に出るころには、今は存在しない職業に就く可能性が高いと考えられています。このような変化が激しい社会を生き抜いていくには、主体性をもって様々な人々と協働しながら問題を発見し、その解決を見出し実践していく力が求められています。

こうした社会の要請を受けて、大学入試は知識を中心に問われていた入試から、「思考力・判断力・表現力」を問う入試に変わって

ICT活用で変わる教育 ～デジタルとアナログの融合を目指して～

公立・私立を問わず様々な学校で、教育のICT化が進められています。教育におけるICT活用の意義や目的とはどのようなものか考えてみました。

「正解」のないこれからの社会を生き抜いていくためには、深い理解に基づく知識や技能を持ち、それらを活用しながら自ら課題を発見し、他者とコミュニケーションを取りながら解決策を導き出す力が必要です。こうした力を大々でもしっかりと育成していくために、その入り口である大学入試でも問う、という流れになっています。

近年、こうした変化に応じた新しい授業手法として、「アクティブラーニング」が注目されています。それは「発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等」を含み、教室内でのグループディスカッション、ディベート、グループワーク等の活動がその特徴であるようにとらえられています。これらを形式的な面だけでなく、その目的にかなった活動にしていかなければなりません。「アクティブラーニング」はその学習方法の面ばかり注目されているようですが、本来は、学習者が内在的に持っている、学びたいという欲求に根ざした活動を追及すべきものといえます。

さて、学習者の主体性に訴え「思考力・判断力・表現力」を高める授業実現に向けて、今、大阪初芝学園各校では、ICTの授業活用を積極的にすすめています。

例えば、電子黒板は、従来の黒板では表現できなかった映像・写真・アニメーション・実技など視覚的でわかりやすい教材を瞬時に見え、学習者の興味・関心を高めたり、課題を明確に伝え

ることができ、また書画カメラやデジタル教材を組み合わせることで、学習者の視線を前方に向かわせ、その表情から授業者は集中度・理解度の度合いを測り、授業の進め方や説明の仕方を工夫するゆとりが生まれます。学園各校でそれぞれ状況は異なりますが、おおむねその導入期は終わり、日常の学習活動への活用を進めています。

また、タブレット＋無線LAN環境により、インターネットによる情報収集やグループ学習、クラス内での意見集約・交換などを効果的に行うことで、学習者の多様な表現活動をメインにした、より活動的な授業を展開しています。このタブレットを学習者一人ひとりが持つようになると、個々の生徒の進捗にあわせ、学習内容や学習レベルを調整し提供する「アダプティブラーニング」が可能になります。個別の理解状況を確認しながら授業を進めていくなど、授業者と学習者の双方のやりとりによって、一層効率的な学習が実現していくでしょう。

「アクティブラーニング」を成立させる上で、学習者が基礎基本の知識を持つことが必須であるとされています。この基本の定着にもICT活用は有効です。学習者の興味・関心の向上に関わって、ICTの再現性(電子黒板で過去の板書事項を再提示するなど)は知識の定着や振り返りを容易にします。授業の導



入時に前時の復習するのに必要だった時間が短縮され、肝心な部分にじっくりと時間を費やすことができます。学習者の集中力が途切れないうちに要点に入ることができる点も、大きな特徴です。

ただし、授業・学習の全てを、ICTを使って行うものに置き換えてしまうわけではありません。たとえば、授業時のノート作成など、学習者が手を動かして行かないに文字を書いたり、電子辞書が便利だからといって、辞書を引き活動がすべてなくなるわけではありません。基本的な学習姿勢に関する活動は、従来通りアナログ的に行っていく必要はあります。

ICTは、学習効果効率の向上が第一義であり、その長所・短所を理解し、よりよい授業・学習スタイルを目指して行くことが大切です。デジタル技術とアナログ式の学習との融合が、これからの新しい学びのスタイルを確立するヒントになるでしょう。

トビタテ！ 留学JAPAN

高校生・大学生等のための
官民協働海外留学支援制度
トビタテ！
JAPAN
日本代表プログラム

初芝立命館高校

2年 金井 美桜さん
2年 足立 昂生くん

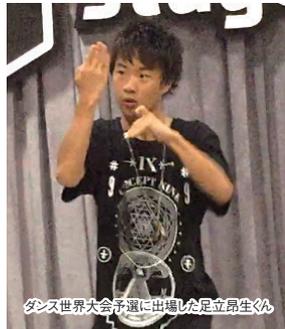
世界を学びのフィールドに

トビタテ！留学JAPANは、書類審査や面接などで選ばれた留学を志す高校生に対し、その費用を支給するという、官民協働の海外留学支援制度（文部科学省主催）です。高校生コースの場合、その留学の目的に応じて、アカデミック・プロフェッショナルスポーツ芸術国際ボランティアの分野で募集がなされており、今年度は2期目。

初芝立命館高校では、昨年に続き今年度この制度で二人の高校生が留学を経験しました。金井さんはアカデミック（テイクオフ）、足立くんはスポーツ芸術での留学になりました。実際に選ばれるには、書類審査やプレゼンテーションなど大きなハードルを超えなければなりません。担当の三井淳美先生によると「現地で自分なりのミッションを持っているか、その思いの強さとあわせて、その実現までの課題をどう克服するか、シナリオをしっかり持つ生徒が、最終的に選ばれているように思います」とのこと。留学プログラムを終えたばかりの二人に、留学の目的やその後の変化などを話してもらいました。

高校2年生の金井美桜さんは、約3週間、ソウルに滞在。最大の目的はハングルの習得で、現地の人とコミュニケーションが取れるくらい力を付けたいというのが目標だったそうです。滞在中は、ホームステイをしながら、NGOが主催する語学学校へ通うという日々を過ごしました。「自分の体感で韓国の人を知りたいというのがあって、仁寺洞（インサド）では、韓国の伝統文化にも触れることができました。ホストファミリーと簡単な会話ができるようになったのが大きな収穫です」とのことでした。韓国への興味から、大学では東アジア研究を志し、留学をそのステップにと考えていた彼女でしたが、帰国後視野に広がりが出てきたとのこと。二つの分野に限らず、少しでも興味あることは追及していきたいし、そのきっかけ

は貪欲につかんでいきたい。人と人国と国とが、頭と感情、人から聞いた話と自分が体感したものとかが、そういったものをきちんと聞き分けたり見分けたらできる大人になりたい、その入り口は他にも沢山あるように思えてきました。」



ダンス世界大会予選に出場した足立昂生くん



仁寺洞での韓服姿の金井美桜さん

足立昂生くんも同じく高校2年生。約5週間、ロサンゼルスに滞在し、中3以来すっかりのめりこんだダンスを本場で学びたいという思いをもつ留学を決意。ホームステイをしながら、フリータイムの時間はロサンゼルスハリウッドの街を満喫したそうです。自分の好きな音楽を自分の体で表現することがダンスの最大の魅力。そう語る足立くんは、留学を振り返って次のように話してくれました。「日本とは全然違うダンス、向こうでしかない動きを学んで来たいというのが、留学の大きな目的でした。8ビットで構成する日本のオールドスタイルに対して、もこうはビートは完全に無視、メロディーばかりを取っていく……一番びっくりしました。現地では『Tattoo（タトゥー）』といわれるジャンルの世界大会があつて、それに出席することも目的の一つ。予選でおちてしまったのは悔しかったのですが、日本大会もあるので、また挑戦しようと思っています。」

海外渡航ホームステイも人生で初めての経験だった彼は、留学後の自分の変化を次のように語ってくれました。「最初から思い込んでしまわずに、ものごとのいろんな面をきちんと見るようになりました。精神年齢が少し上がった、全体的に心の余裕が持てるようになった気がします。」

全日本ジュニア柔道 体重別選手権大会 優勝

初芝橋本高校

3年 徳本 千大くん

一戦二戦、着実に、自然体で

平成28年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）準優勝に続き、全日本ジュニア選手権で優勝を果たした徳本千大くん。この優勝によって、11月の講道館杯への出場資格を得ました。講道館杯はオリンピックの一次選考会、世界選手権にもつながります。柔道が続ける学生にとって、まさに憧れともいえる大会です。全日本強化選手（U-20）にも選ばれ、これから始まる強化合宿への参加が決まっています。今、世界へ向けて、着実に歩み始めた徳本くんは、話を聞きました。

「はじめは、自分が攻めたんですけど、仕掛けたところに相手に合わされた感じ……。攻める事しか考えていなくて……」高校総体の決勝を振り返って、こう語ってくれました。「春に負けた相手だったので、勝ちたい気持ちが強かった。彼は小学校のころから顔見知りで、結局1回も勝ってない。」とくやしさを滲ませた言葉で、試合を振り返りました。

小学生の頃からずっと柔道が続けてきて、中学進学の際に、あらためて続けることを決意した徳本くん。「僕（柔道）で自分で選んだんで、これからできるだけ長く続けて……。最後まで柔道は続けようと思いません。自分は自分、人のことはあまり気にならない。試合前もあまり勝敗のことは考えない。」二戦二戦、これまで自然体で臨んで

きた様子がかえります。「インターハイ2位になったときは、まさかこんな舞台上に上がれるとは思ってなかった。2年間、1回戦負けが続いたんで、いつ勝てるんやろという感じだった。目標は一番だったけど、狙えるところまで自分が来ているとは、インターハイ当日の朝も思いませんでした。」

「徳本のすごいところは、ここ一番で、絶対に負けないこと。結果を残して、練習はそれほどがつがつするタイプではないです。そのくせ試合では強い。ここ一番の戦いぶりを見続けてきた森泰伸先生（柔道部顧問）の言葉。「全日本大会へ行っても案外いろんな人としゃべって。人徳というか人を惹きつけるものを持つていて……。後輩からも千ちゃん、千ちゃんってよばれています。」

「オリンピックに向けての意気込みは？」という質問には、「……早い（笑）。全日本強化合宿には全国のトップ選手が集まっているので、まずは頑張るって追いつきたい。高校で日本一になってようやくもう一つ上の舞台が見えてきたところ。講道館杯では、まずは「回戦突破が目標。」と語ってくれました。



平成28年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
決勝戦「三角絞で逆転の一本」(写真提供:柔道サレJudo)

徳本 千大くん プロフィール

- 7月31日 平成28年度全国高等学校総合体育大会柔道競技(島根県立浜山体育館)
男子60kg級 準優勝
- 9月10日 平成28年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会(埼玉県立武道館)
男子55kg級 優勝
- 全日本強化選手(U-20)、講道館杯出場予定
- 11月18日より3日間、全日本強化合宿(東京/味の素ナショナルトレーニングセンター)に参加する。



初芝橋本 徳本 千大くん

国際物理オリンピック (物理チャレンジ)

初芝富田林高校 1年 喜田 輪くん

好奇心のおもむくままに



第2チャレンジ 3日目実験試験解説
(写真提供:特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会)

物理チャレンジは、高校生等を対象とした物理学に関する全国規模のコンテストです。毎年、応募者約2000名(第1チャレンジの中から、今年もレポート筆記テストで選抜された優秀者約100名が、東京理科大に集まりました。全国の有名校が常連となつているこのコンテスト(第2チャレンジ)で、彼らに与えられる課題や実験の内容は、大学・大学院での研究につながるレベルのもので、5時間にもおよぶ筆記試験や、著名な研究者による講義・解説など、まさに物理漬けの4日間を過ごします。

喜田輪くんはこの第2チャレンジの評価により、銀賞(7〜18位相当)および日本代表候補者15名に選ばれました。通常1年生で学習するのは、入門部分のみですが、彼は大学研究レベルを理解できるところまで、独学で物理を学んだといえます。東京理科大での4日間を次のように熱く語ってくれました。「第2チャレンジでは、本当にすごい人に出会えます。それでいて全員めっちゃいい人。お互いに話を通じるといっかどこかタイプが似ている気がします。昨年ノーベル物理学賞を受賞した梶田先生のニートリノ振動の講義とてもわかりやすかったです。宇宙とか素粒子とか、目に見えないこと。面白そうじゃないですか!」

吉田訓士先生(理科)によると「物理オリピックでは、知識はもちろん、疑問に思ったことについて、自分なりに実験方法を組み立て、考察・発展まで深めていく力が評価されます。彼のこれからの可能性のような部分も評価されたのでは」とのことでした。喜田くんは物理オリンピックに挑戦したきっかけをこう話してくれました。「小・中学校の頃は算数・数学が好きで、同種のコンテストにも出場しました。でも、オリンピックでは、太刀打ちできない。すつとできちゃう人がいるんですけど、自分はそこまでいけてなくて…。物理に目先が変わったのは、母のすすめがきっかけ。そこから純粋におもしろそうだなあと、物理で使う数式には、単なる計算過程というものがほとんどなくて、すべて何かにつながる、意味を持ってる。そこが自分にぴったりはまたよかったです。」



喜田 輪くん 国際物理オリンピックまでの流れ
6〜7月 第1チャレンジ(レポート・筆記テスト)
8月 第2チャレンジ:銀賞受賞および日本代表候補者(15名)に選抜。
今後、日本代表候補者研修・ステップアップ研修を経て、翌年3月のチャレンジファイナル(国際物理オリンピック日本代表の最終選考)に出場する。

放課後サイエンス教室

はつしば学園小学校 6年 鍋島 葵さん

日常の中にサイエンスの種がある



狭山池での調査

はつしば学園小学校では、「はつしばサイエンス」の一環として、「放課後サイエンス教室」を毎年、開講しています。今年度は4・5・6年生児童を対象に、その年度の講座テーマを案内し、児童が自分の希望する講座に申込み、参加するスタイルをとっています。今年度40名、3年間で延べ400名の児童が参加しましたがリピーターも少なくありません。

鍋島葵さん(小6)もその一人で、彼女は小学校3年以來、毎年欠かさず参加しているそうです。この教室で行った実験の中で印象に残っているものを聞くと、ラムネ作り、化学薬品をつかったあぶり出し、スライム作り等、3年時のものから最近のものまで、二つがその時のエピソードと共に登場します。

「家庭でも、薬(風邪薬とか)を使って、カプセルと錠剤でどっちが先に溶けるか調べたことがあります。重曹とかクエン酸、水道水とかいろいろ比べて。ペットボトルを10本くらい用意しました。錠剤の方が早く溶けて、カプセルは6時間以上溶けないことが分かりました。」と教えてくれました。

他にも、おばあちゃんがレシートを服に入れたままアイロントしたこと、感熱紙の研究につながったり、使用済みの乾電池の後ろの部分が出張っていることを不思議に思ったことから、乾電池の研究がスタートしました。



「はつしばサイエンス」各種支援・助成の実績
・河川整備基金助成事業(国土交通省)…………… H26〜28
・サイエンスパートナーシッププログラム事業(文部科学省)…………… H26
・パナソニック教育財団 実践教育助成(パナソニック教育財団)…………… H27
◀表彰状は、地域教材としての河川を題材とした環境プログラムの実践(河川財団)において、優秀校に選ばれたときのものです。

初芝スイミングスクール

夏休み短期教室・6月1ヶ月体験

今年度も〈夏休み短期教室〉、〈6月1ヶ月体験〉を実施し、大盛況に終わりました。

また、新たにSNSを使った会員募集、イベント募集にも取り組み、さらに活気のあるスイミングになっています。

今年はオリンピックイヤーという事もあり選手も例年以上に活躍しました。

リオデジャネイロオリンピック日本代表をかけて

小林奈央選手、秦隆太郎選手が日本選手権に出場しました。小林奈央選手はオリンピック日本代表を逃すも、200mバタフライ3位、100mバタフライ4位の輝かしい戦績となりました。また、水竹愛美選手、小野冨幸選手、嶽下蘭子選手が全国中学水泳競技大会に於いて、400mメドレーリレー3位、400mフリーリレー5位、女子総合3位と大健闘しました。

インターナショナルチームに小林選手、ナショナルチーム、東京オリンピック強化選手に秦選手等、国際レベル、全国レベルの選手数が増えてきて益々魅力のある選手コースになっています。



はつしば学園幼稚園

護身術・スポーツチャンバラ体験

9月に年長・年中組を対象に、護身術・スポーツチャンバラの体験を行いました。

正座をしての挨拶から始まった授業に、ピリッとした緊張感を持って臨む子ども達。真剣なまなざしで、先生のお話を聞いていました。

自分の身を守る護身術では、小さな

身体でも少しの工夫で逃げる事ができることに驚きの表情が窺え、防犯意識を持ちながら取り組みました。そして、いよいよ小太刀を持ってのスポーツチャンバラ。

基本の構えも様になっています。講師の先生が持つ模擬対戦者に駆け込んで、「め〜ん!!」と大きな声で打ち込む子ども達は、とても楽しそうでした。

最後には、はじめと同様に正座をしての礼で終わり、武術を通しての礼儀作法も貴重な体験となったようです。



ひよこ教室

- 第5回 11月19日(土)
- 第6回 3月4日(土)
2017年
- 第7回 3月18日(土)
2017年

電話予約が必要です。
詳しくはHPをご覧ください。
<http://www.hatsushiba.ed.jp/kindergarten/>

園庭開放

- 第5回 11月19日(土)
- 第6回 12月17日(土)
2017年
- 第7回 3月4日(土)
2017年
- 第8回 3月18日(土)
2017年



保護者とお子様、一緒に幼稚園へ！
製作や紙芝居・ダンスなどのお楽しみタイムもあります。

初芝スイミングスクール フェイスブックはじめました!



最新情報はこちらから▼

@hatsushibass

検索

情報 随時
更新 中 !!

スマホで情報が
すぐ見られる!!
今すぐ
チェック!

イベント情報や会員特典などさまざまな記事をアップしています。ぜひ、フォローしてください。

平成29年度 大阪初芝学園 入試スケジュール

	高等学校			中学校			小学校
	初芝立命館高等学校	初芝富田林高等学校	初芝橋本高等学校	初芝立命館中学校	初芝富田林中学校	初芝橋本中学校	はつしば学園小学校
入試説明会 個別相談会 個別見学会	初芝×立命館【難波会場】 立命館コース まるわかり説明会 11月20日(日) 11:00	入試説明会 12月3日(土) 14:00	オープンスクール 10月29日(土) 10:00	プレテスト個別相談会 11月12日(土) 10:00	プレテスト個別相談会 10月29日(土) 9:00~17:00	プレテスト会 11月5日(土) 8:50	
	入試対策講座 12月3日(土) 10:00/14:00	個別見学会 11月19日(土) 11月26日(土) 12月17日(土) 9:00~17:00	入試説明会 11月12日(土) 12月4日(日) 14:00	初芝×立命館【難波会場】 立命館コース まるわかり説明会 11月20日(日) 11:00	個別見学会 11月19日(土) 11月26日(土) 12月17日(土) 9:00~17:00	個別相談会 12月10日(土) 14:00	入試説明会 12月4日(日) 14:00
入 試 日	平成29年 2月10日(金)	平成29年 2月10日(金)	【A日程】 平成29年 1月28日(土)	【A日程】 平成29年 1月14日(土)午前	【1次A】 平成29年 1月14日(土)午前	【A1日程】 平成29年 1月14日(土)午前	2次・転入1次 11月5日(土)
				【B日程】 平成29年 1月14日(土)午後	【1次B】 平成29年 1月14日(土)午後	【A2日程】 平成29年 1月15日(日)午前	転入2次 平成29年 1月28日(土)
				【C日程】 平成29年 1月15日(日)午前	【2次】 平成29年 1月15日(日)午前	【B日程】 平成29年 1月17日(火)午後	3次 平成29年 2月4日(土)
				【D日程】 平成29年 1月28日(土)午前	【選抜】 平成29年 1月16日(月)午後		

Editor's Note

第12号特集「活躍する児童生徒たち」の執筆に際しては、各校の協力のもと、児童生徒たちから直にお話をうかがう機会をいただきました。残念ながら、その一端のみのご紹介となりましたが、彼らが味わった感動や今のありのままの思いを感じていただければと思います。今後とも、彼らの活躍に期待しています。